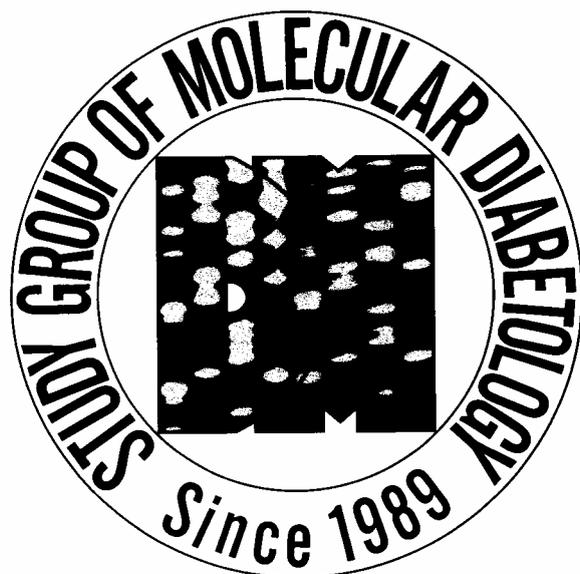


第 17 回 分子糖尿病学シンポジウム プログラム



会 期 2005 年 12 月 3 日 (土)
9:25 ~ 17:40

会 場 国立京都国際会館
〒606-0001 京都府京都市左京区宝ヶ池
TEL:075-705-1234

代表世話人 山田 祐一郎
(京都大学大学院医学研究科 糖尿病・栄養内科学)

共 催 分子糖尿病学研究会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

後 援 日本糖尿病学会

開会の辞 09:25 ~ 09:30

山田祐一郎 (京都大学 大学院医学研究科 糖尿病 栄養内科学)

セッション1 09:30 ~ 10:22

座長 鈴木 進 (東北大学 大学院医学系研究科 分子代謝病態学分野 糖尿病代謝科)

- 1.新規転写因子 TFE3 は IRS-2 とインスリンシグナル分子を活性化し、糖尿病を改善する
筑波大学大学院人間総合科学研究科・TARA センター 代謝内分泌・糖尿病内科
中川 嘉、島野 仁、山本隆史、田村真理子、山田信博
- 2.肝へのガングリオシド特異的シアリダーゼ NEU3 遺伝子導入によるインスリン感受性と耐糖能改善の分子機序
東北大学分子代謝病態学分野・糖尿病代謝科、宮城県立がんセンター研究所生化学部門¹
善積信介、鈴木 進、山田高弘、沖本久志、平井完史、檜尾好徳、荻原健英、片桐秀樹、岡 芳知、山口壹範¹、宮城妙子¹
- 3.個体での SH2 Containing 5'-Inositol Phosphatase 2 (SHIP2) 過剰発現が末梢及び中枢のインスリン作用に与える影響の検討
富山大学臨床薬理学¹、西能病院内科、富山大学第一内科³
香川正太¹、石原 元²、添田義行¹、恒枝宏史¹、和田 努¹、小林 正³、笹岡利安¹
- 4.インスリンは中枢作用を介して肝臓の STAT3 活性を制御する
神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝・消化器・腎臓内科、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心身医療科
井上 啓、小川 涉、浅川明弘、岡本安生、乾 明夫¹、春日雅人

セッション2 10:22 ~ 11:14

座長 門脇 孝 (東京大学 大学院医学系研究科 糖尿病 代謝内科)

- 5.ピオグリタゾン は SOCS 3 の発現抑制をともないインスリン感受性を改善する
富山大学第一内科
石塚 健、薄井 勲、金谷由紀子、藤坂志保、賀 剣英、Agussalim Bukhari、小林 正
- 6.肝遺伝子発現から見た db/db 糖尿病モデルマウスにおける肝インスリン抵抗性の pioglitazone による改善機序
川崎医科大学糖尿病内分泌内科
中島弘二、菅田有紀子、川崎史子、小原健司、俵本和仁、小谷 光、松田昌文、加来浩平
- 7.Akt 特異的結合タンパク APE/Girdin は Akt 活性を増強させるとともにアポトーシス誘導を抑制する
財団法人朝日生命成人病研究所
穴井元暢、柴田健一、大西由希子、佃 克則、迫田秀之、藤城 緑、櫛山暁史、額織優子、栗原裕基、菊池方利、浅野知一郎
- 8.アディポネクチン受容体の生理的・病態生理的意義
東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科
牧 敏之、山内敏正、小林正樹、高澤 健、仁尾泰徳、羽田裕亮、武川 郷、窪田直人、植木浩二郎、戸辺一之、門脇 孝

特別講演 11:20 ~ 12:20

座長 大澤春彦 (愛媛大学医学部 臨床検査医学 (糖尿病内科))

“ユビキチン修飾系が選択的に蛋白質を識別するしくみ”

岩井 一宏 (大阪市立大学 大学院医学研究科 老年医学大講座分子制御分野 教授)

昼食 12:20 ~ 13:20

セッション3 13:20 ~ 14:12

座長 荒木栄一 (熊本大学 大学院医学薬学研究部 代謝内科学)

9. 新しい動脈硬化抑制機序としての AMPK の役割

熊本大学大学院医学薬学研究部代謝内科学

井形元維、本島寛之、水流添 覚、児島 協、村田雄介、豊永哲至、荒木栄一

10. インスリン分泌低下型糖尿病の体重および脂質代謝に及ぼすレプチンの効果

京都大学大学院医学研究科内分泌代謝内科

宮永史子、益崎裕章、海老原健、谷岡秀樹、日下部徹、平田雅一、髭 秀樹、藤沢 武、田中智洋、富田 努、小林望美、泰江慎太郎、石井崇子、荒井直樹、細田公則、中尾一和

11. レジスチンプロモーター SNP-420 の 2 型糖尿病における意義

愛媛大学臨床検査医学(糖尿病内科)、福井大学分子生体情報学¹、CREST²、愛媛県立今治病院³、千葉中央メディカルセンター⁴、愛媛大学環境遺伝学⁵、愛媛大学第一内科⁶、愛媛大学老年医学⁷、愛媛県立中央病院⁸、東京大学人類遺伝学⁹

大澤春彦、山田一哉^{1&2}、大沼 裕、村上晶子、越智正昭、清水一紀³、西田 互、山内淳子、金塚 東⁴、田原康玄⁵、安川正貴⁶、三木哲郎⁷、藤井靖久⁸、大橋 順⁹、牧野英一

12. 糖尿病網膜症における VEGF2578 遺伝子多型のインパクト

東京女子医科大学第三内科学(糖尿病センター内科)¹、東京女子医科大学糖尿病センター眼科²、

東京女子医科大学大学院先端生命医科学専攻遺伝子医学分野

岩崎直子¹、中村新子²、中村好弘³、船津英陽⁴、北野滋彦²、尾形真規子¹、藤巻理沙¹、鎌谷直之³、岩本安彦¹

セッション4 14:12 ~ 14:51

座長 綿田裕孝 (順天堂大学医学部 内科学・代謝内分泌学)

13. 臍 細胞における電位依存性 Ca²⁺ チャンネル機能的発現調節機構の多様性について

京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学¹、Epithelial Cell Biology Laboratory, Institute of Molecular and Cell Biology²、

岡山大学大学院医歯学総合研究科細胞生理学³

長嶋一昭¹、Pascal Beguir²、魏 范研³、富澤一仁³、山田祐一郎¹、稲垣暢也¹

14. IA-2 はグレリンによるインスリン分泌抑制に関与する

和歌山県立医科大学内科学第一講座

庄野剛史、土井麻子、西 理宏、島田 健、古川安志、古田浩人、佐々木秀行、南條輝志男

15. HNF-1 新規標的遺伝子 collectrin による糖応答性インスリン分泌促進作用

大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科¹、生理学研究所生体膜部門²、

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学³、愛媛大学医学部生化学・分子遺伝学⁴、住友病院⁵

福井健司¹、楊 勤¹、高橋倫子²、畠山裕康²、和田 淳³、南茂隆生¹、東山繁樹⁴、河西春郎²、松澤佑次⁵、下村伊一郎¹、宮川潤一郎¹、山縣和也¹

セッション5 14:51 ~ 15:43

座長 谷澤幸生 (山口大学 大学院医学研究科 生体シグナル解析医学 分子病態解析学)

16. wfs1 欠損マウスではインスリン需要増大時に臍 細胞が選択的に脱落する

山口大学 大学院医学研究科生体シグナル解析医学講座 分子病態解析学¹、山口大学 大学教育機構 保健管理センター²

東北大学大学院医学研究科分子代謝病態学³

秋山 優¹、植田浩平²、幡中雅行¹、宮崎睦子¹、岡 芳知³、谷澤幸生¹

17. 臍 細胞特異的 VEGF-A KO マウスにおけるインスリン分泌障害は顕性糖尿病の原因となりうる

順天堂大学内科学・代謝内分泌学

岩下乃夕、綿田裕孝、崔 正福、内田豊義、東 浩介、荻原 健、池田富貴、Ferrara Napoleone、Gerber Hans-Peter、田中 逸、井上正宏、河盛隆造

18. MafA 遺伝子発現アデノウイルスの経口投与は、小腸内分泌細胞をインスリン分泌細胞に分化させ、糖尿病ラットの血糖値を改善させる

滋賀医科大学内分泌代謝内科、同解剖学(神経形態学)¹

野村 哲、中村高秋、橋本哲也、西尾善彦、前川 聡、工藤 基¹、柏木厚典

19. マウス胎児肝のインスリン遺伝子発現

東北大学大学院医学系研究科生物化学分野¹、先端再生生命科学（江東微生物研究所）寄附講座²、消化器外科学分野³

高沢 伸¹、村上晶子²、小野川 徹³、那谷耕司¹、池田崇之²、山内晶世²、高橋 巖²、吉川雄朗²、野口直哉¹、海野倫明、岡本 宏²

セッション6

15:43 ~ 16:22

座長 三家登喜夫 (和歌山県立医科大学 臨床検査医学)

20. 組織特異的 PDX-1 過剰発現マウスを用いた膵分化機構の解析

大阪大学大学院医学系研究科内科学講座

宮塚 健、藤谷与士夫、白岩俊彦、山本かをる、加藤 研、松岡孝昭、中村裕美子、梶本佳孝、松久宗英、山崎義光、金藤秀明

21. 膵腺房細胞からのインスリン分泌細胞の誘導と分化転換メカニズムの解析

京都大学医学部附属病院探索医療センター¹、神戸大学大学院医学系研究科細胞分子医学²

南 幸太郎、奥野正顕、宮脇一真¹、奥町彰礼¹、石塚伸子¹、石崎勝彦²、尾山和信²、川口美穂、清野 進^{1,2}

22. NEUROG3 発現をレポートするモデル動物の開発とその応用

和歌山県立医科大学臨床病態解析学¹、University of California, San Francisco²

島尻佳典¹、小坂泰弘²、David Scheel²、趙 淑紅²、Francis Lynn²、三家登喜夫¹、Michael German²

休憩

16:22 ~ 16:30

特別講演

16:30 ~ 17:30

座長 山田祐一郎 (京都大学 大学院医学研究科 糖尿病 栄養内科学)

“ Dissecting pancreas development is crucial for cell
therapy of diabetes ”

Raphael Scharfmann

**INSERM(French National Institute of Health and
Medical Research) Paris, France**

分子糖尿病学研究奨励賞 発表 / 授与

17:30 ~ 17:35

山田祐一郎 (京都大学 大学院医学研究科 糖尿病・栄養内科学)

閉会の辞

17:35 ~ 17:40

大澤春彦 (愛媛大学医学部 臨床検査医学 (糖尿病内科))